

Cloud×NAS

「ハイブリッド運用」で BCP対策とビジネス効率アップ

クラウドを
始めるなら

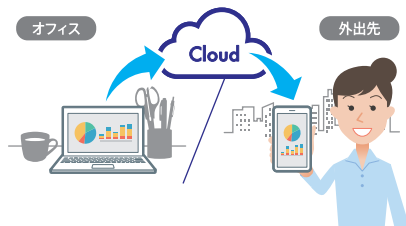
コロナ禍では私たちのワークスタイルはテレワークをはじめ、どこにいてもデータへのアクセスがストレスなく行われることが求められるようになりました。さらに2022年1月施行の電帳法改正において電子取引情報のデジタルデータ保存の義務化が始まり、2023年10月から実施のインボイス制度開始によりますます企業にはDX化の波が押し寄せてきます。これら企業内のデータは、消失すると企業活動の中断を余儀なくされるなど、多大なる影響を与えることは必至です。クラウドストレージは、快適にテレワークを行う後押しをする一方で、データの保存先としては一か所となるため、特に保存先の多重化や世代管理が求められるランサムウェア対策では不安は拭えません。アイ・オー・データ機器では、安全・低コストでデータ消失リスクを低減するために、ストレスのないデータアクセスによりビジネス効率を向上させたクラウドストレージサービスとNASのハイブリッド運用をお勧めします。



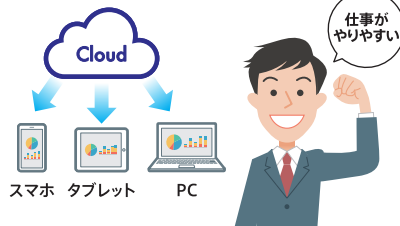
とっても便利!

クラウドストレージサービスの「メリット」

リモートワークをする場合にも
社内の共有データをいつでも参照できて
生産性が向上



マルチデバイス対応なので
データの受け渡しに困らなくて
業務効率がアップ



会社に事故や災害が起こっても
クラウド上にデータが残っているので
BCP対策として有効



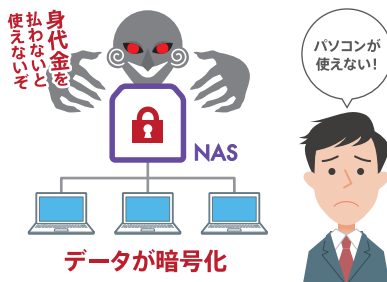
しかし

全てクラウドに集約すると

企業によってこんな悩みがあります…

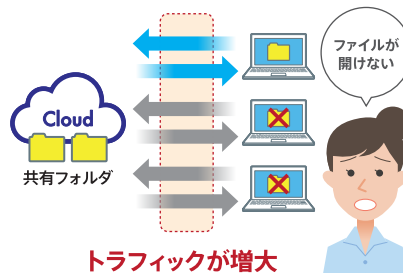
お悩み①

保存先が一つなので
ランサムウェア対策が不安



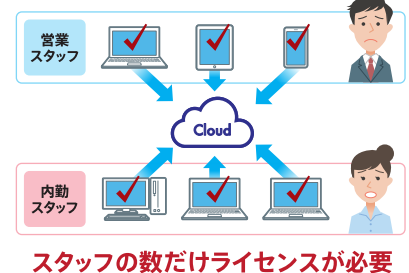
お悩み②

クラウドの同期通信で
ネットワークが混雑



お悩み③

内勤スタッフ分全員の
ライセンス料が負担に



そこで

オススメなのがNASとの「ハイブリッド運用」です!

詳細は
裏面へ



×



の「ハイブリッド運用」で解決

解決! 1

Cloud×NAS

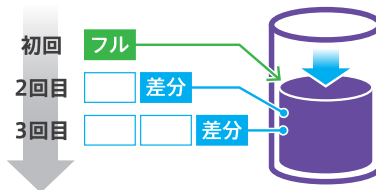
ランサムウェア対策の常識

オンプレミスで履歴差分バックアップ

クラウドストレージサービスにも「バージョン管理」という履歴保存機能はありますが、サービスによっては、企業が求める回数や世代数、保存期間を満たさない場合もあります。オンプレミスのNASなら、そして週、月のバックアップ回数や、世代数を設定、管理ができます。さらにNASのデータを、クラウドへアップロードして多重化を図ります。

差分データのみが保存されるので
容量が節約でき、時間も短縮!

バックアップ
が簡単



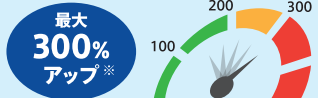
解決! 2

Cloud×NAS

クラウドとの通信をNASに集約、社内ネットワークの負荷を軽減します

クラウドにある共有フォルダと社内各クライアントPCにあるフォルダが同期した場合、ファイルを更新するたびに、PCの数だけ同期処理が発生しトラフィックが増大することで、ネットワークが遅くなる場合があります。クラウドとの通信をNASに集約することで、ネットワーク負荷を減らし、安定したファイルアクセスが可能になります。

当社LinuxベースOS NASの新「クラウドストレージ連携パッケージ」で同期(アップロード)スピードも向上しました。



※当社調べ



通信をNASに集約

操作が
とっても
スムーズ



ネットワーク負荷を軽減

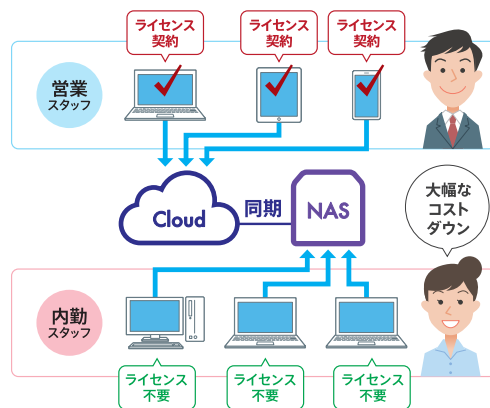


解決! 3

Cloud×NAS

スタッフの勤務形態にあわせて必要なコストを抑えられます

一般的にクラウドの利用は、オンプレミスの方に比べコストを抑えられると言われていました。しかし、全てクラウドに集約するとリモートワークやマルチデバイスで業務しないスタッフにまでクラウドのライセンスが必要となるため、かえってコストは高くなる場合があります。ハイブリッド運用なら、スタッフの業務やBCP対策など利用目的に応じて必要な数だけライセンスを用意すればよいので、コストを抑えられます。



大幅な
コスト
ダウン

商品ラインアップ

100名規模のオフィス向けハイエンドモデル

LAN DISK H

- 6ドライブ HDL6-HABシリーズ
- 4ドライブ HDL4-HAEXBシリーズ
- 2ドライブ HDL2-HABシリーズ

50名規模のオフィス向けスタンダードモデル

LAN DISK X

- 4ドライブ HDL4-XABシリーズ
- 2ドライブ HDL2-XABシリーズ

15名規模のオフィス向けエントリーモデル

LAN DISK A

- 2ドライブ HDL2-AAXWBシリーズ
- 1ドライブ HDL-AAXWシリーズ

Windows OS搭載のハイエンドモデル

LAN DISK Z

- 4ドライブ HDL4-Z22SATABシリーズ
- 2ドライブ HDL2-Z22SATABシリーズ

※LAN DISK Zには、Windows OSのバージョンが異なるラインアップがございます。詳しくはWEBページをご確認ください。

CHECK 当社ビジネスNASはすべてクラウド対応しています。

LAN DISK対応クラウド
ストレージサービス一覧はこちら

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/cloud.htm>



株式会社 **アイ・オー・データ機器** www.iodata.jp

商品選びで悩んだら!
購入前のお問い合わせ

TEL.0120-777-618 ※おかけ間違いのないようお願い致します。
月曜日～金曜日(祝日を除く) 10:00～17:00

●一般に、会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。●商品の色合いは、撮影・印刷の仕上がり上、実物とは多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
●内容は2022年3月現在のものです。なお商品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。